

NY マーケットレポート (2020年9月16日)

2020年9月16日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	23,475.53	+20.64	-0.77%
ハンセン指数	24,725.63	-7.13	-12.29%
上海総合	3,283.92	-11.76	7.67%
韓国総合	2,435.92	-7.66	10.84%
豪ASX200	5,956.10	+61.27	-10.89%
シンガポールST	2,505.15	+19.32	-22.27%
インドSENSEX	39,302.85	+258.50	-4.73%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	105.05	105.44	104.81
EUR/JPY	123.97	125.01	123.84
GBP/JPY	136.08	136.47	135.56
AUD/JPY	76.65	77.18	76.45
EUR/USD	1.1802	1.1882	1.1788
BRL/JPY	19.962	20.022	19.693
RUB/JPY	1.392	1.401	1.385

	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,078.48	-27.06	-19.41%
仏CAC40	5,074.42	+6.49	-15.12%
独DAX	13,255.37	+37.70	0.05%
スペインIBX35	7,110.80	+74.80	-25.54%
イタリアFTSE MIB	19,963.99	+7.04	-15.07%
トルコ・イスタンブール100	1,107.11	-4.13	-3.25%
ロシアRTS	1,251.86	-1.82	-19.18%
南ア全株指数	55,960.74	-170.04	-1.97%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1970.50	+4.30	29.37%
NY 原油	40.16	+1.88	-34.23%
CBOTコーン	371.75	+5.75	-4.13%
CRB指数	149.736	+1.975	-19.40%
ドル指数先物	93.214	+0.164	-3.29%
VIX指数	26.04	+0.45	88.97%

	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	28,032.38	+36.78	-1.77%
S&P500	3,385.49	-15.71	4.79%
NASDAQ	11,050.47	-139.86	23.16%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16,295.66	-135.61	-4.50%
メキシコ・ボルサ指数	休場		#VALUE!
ブラジル・ボベスパ指数	99,675.68	-622.23	-13.81%

*メキシコ市場は独立記念日で休場

*一部暫定値

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	11025	10720
Ripple (BSTP)	0.245	0.247
Ethereum (BSTP)	365.71	376.68
Bitcoin Cash	230.60	227.09

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.133%	-0.133%
5年債	-0.106%	-0.099%
10年債	0.021%	0.021%
30年債	0.595%	0.585%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	-0.484%	-0.479%
英国 10年債	0.211%	0.217%
フランス 10年債	-0.220%	-0.210%
米国債利回り		
2年債	0.137%	0.139%
3年債	0.162%	0.162%
5年債	0.282%	0.272%
7年債	0.475%	0.459%
10年債	0.697%	0.679%
30年債	1.459%	1.431%

9/17 経済指標スケジュール	
09:30	【シンガポール】8月輸出[除石油]
09:30	【シンガポール】8月電子機器輸出
10:30	【オーストラリア】8月失業率
10:30	【オーストラリア】8月雇用者数
10:30	【オーストラリア】8月労働参加率
11:30	【日本】8月首都圏新規マンション発売
12:00	【ニュージーランド】9月非居住者国債保有率
12:00	【日本】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
15:00	【スイス】8月貿易収支
15:00	【欧州】8月新車登録台数[EU-27]
17:00	【ポーランド】8月雇用
17:00	【ポーランド】8月平均賃金
17:30	【香港】8月失業率
18:00	【欧州】7月建設支出
18:00	【欧州】8月消費者物価指数
20:00	【英国】政策金利発表
20:00	【英国】英中銀 議事録
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】8月住宅着工件数
21:30	【米国】8月建設許可件数
21:30	【米国】9月フィラデルフィア連銀景況指数
22:20	【南アフリカ】政策金利発表(時間不確定)
23:30	【米国】EIA天然ガス貯蔵量

9/17 主要会議・講演・その他予定
・黒田日銀総裁 定例会見
・10年TIPS債入札

NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

主要な米経済指標の結果

8 月小売売上高（前月比） 0.6%（予想 1.0%・前回 1.2%⇒0.9%）

8 月小売売上高[除自動車]（前月比） 0.7%（予想 0.9%・前回 1.9%⇒1.3%）

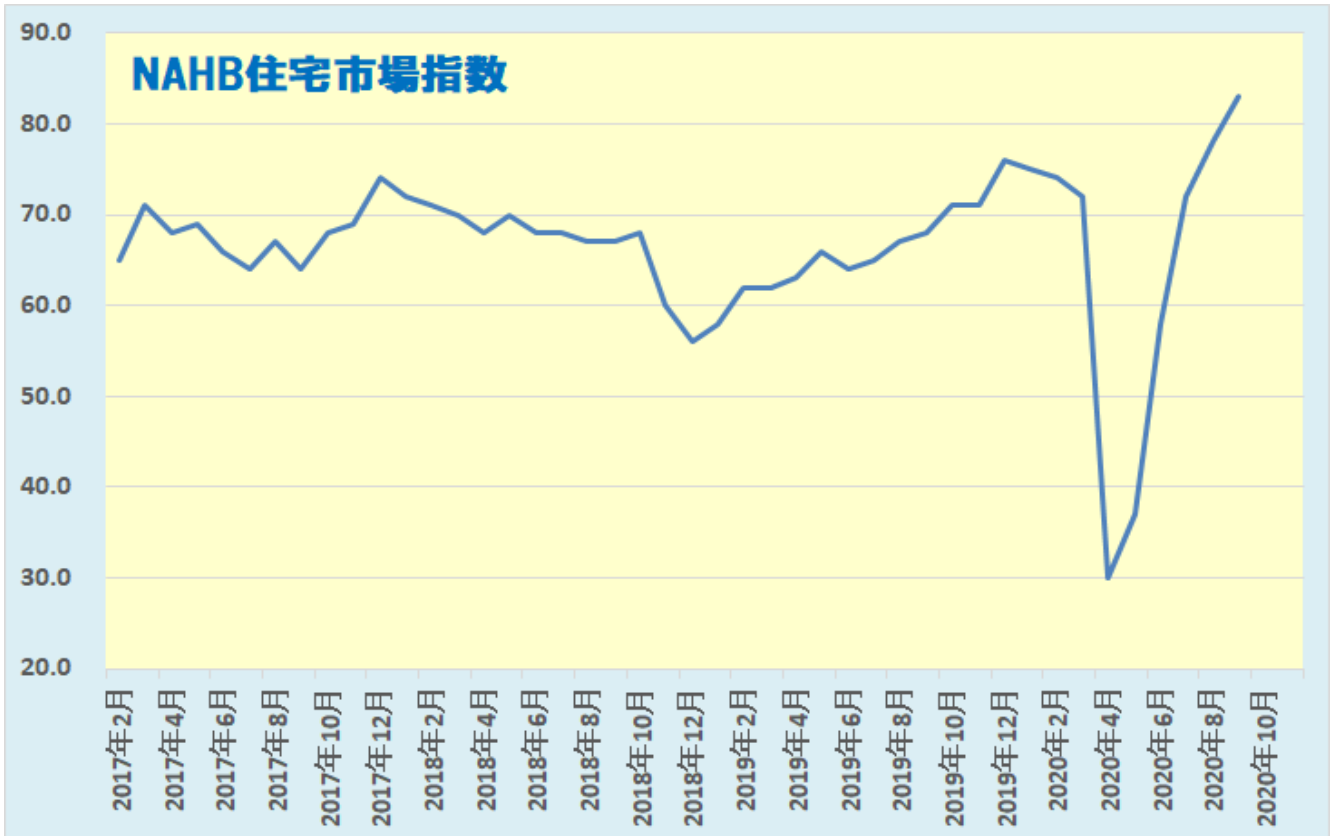
8 月の米小売売上高は、市場予想を下回る前月比+0.6%の 5375.3 億ドル（約 56.4 兆円）となり、伸び幅は前月から縮小したものの、4 カ月連続のプラスとなった。自動車は 0.2%（前月-1.0%）、家具は 2.1%（0.9%）、建設資材は 2.0%（-2.4%）、衣料品は 2.9%（2.2%）、ガソリンスタンドは 0.4%（4.4%）。



データを基に SBILM が作成

9 月 NAHB 住宅市場指数 83（予想 78・前回 78）

9 月の米 NAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、市場予想を上回り、過去最高を更新した。低水準の住宅ローン金利を背景に、住宅市場を活況であることが示された。一戸建て販売の現況は 88（前月 84）、先行き見通しは 84（78）、見込み客足指数は 73（64）といずれも前月を大きく上回った。



データを基に SBILM が作成

FOMC の主な声明

- ・ FF 金利の誘導目標を 0.00%-0.25% に維持することを決定。
- ・ 最大限の雇用達成までこの誘導目標レンジを維持する。
- ・ 雇用最大化と長期的な 2% のインフレ率の達成を目指す。
- ・ 米国債およびローン担保証券の保有を現在のペースを維持し、家計や企業への信用の流れを支援する。
- ・ カプラン、カシュカリ両総裁が反対票を投じた。

パウエル FRB 議長の会見での主な発言

- ・ 景気拡大が十分に進むまで金融緩和策を維持する
- ・ 財政による追加の景気支援が必要になりそう
- ・ 物価上昇 2% 超までゼロ金利を維持
- ・ 労働市場が改善したのは明確、最大雇用へは長い道のりだ
- ・ 労働市場は最大雇用までの道のりが長いことは明白

ダウ平均は4営業日続伸、ナスダックは3営業日ぶり反落

米株式市場では、FOMCで金融緩和の長期化が示唆されるとの思惑を背景に、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。そして、FOMCの声明を受けて一段の上昇となる場面もあったが、その後は材料出尽くし感が高まったことや、米国の追加経済対策を巡る与野党協議の難航が懸念され、終盤には上げ幅を縮小し、ナスダックとS&P500は反落となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比369ドル高まで上昇した。しかし、その後は下落に転じて上げ幅を縮小し、36.78ドル高(+0.13%)で終了し、4営業日続伸となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは139.86ポイント安(-1.25%)で終了し、3営業日ぶりに反落となった。



データを基にSBILMが作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	石油・ガス	2.89%	1	シェブロン	2.89%
2	資本財	1.72%	2	ウォルグリーンBA	2.86%
3	金融	0.44%	3	ボーイング	2.43%
	テクノロジー	-0.79%	4	3M	1.77%
	素材	-2.68%	5	キャタピラー	1.69%

データを基にSBILMが作成

ドル/円は 104.81 まで下落し、7/31 以来の 105 円台割れ

NY 市場では、欧州市場の流れを引き継ぎ、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。FOMC で米国の金融緩和策の長期化が示唆されるとの思惑を背景に、ドルは上値の重い動きとなった。さらに、序盤に発表された 8 月の米小売売上高が市場予想を下回り、前月から伸び幅が低下したことも加わり、ドル/円は 104.81 まで下落した。その後、105 円台まで値を戻したものの、FOMC でインフレ率が目標を超える軌道にあると判断されるまで低金利を維持する方針が示されたことから、ドル/円は再び 104.81 まで下落した。さらに、2023 年に利上げが予想されると一部で期待されていたが、2023 年いっぱいにはゼロ金利近辺が維持されることが示唆されたこともドルの圧迫要因となった。しかし、今年の経済成長見通しに関して、6 月予想の -6.5% から -3.7% に引き上げられたことがドルの下支え要因となり、ドル/円は 105 円台まで反発した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。